

# Q&A

## 一般質問

# 市政のそこが聞きたい!

9月議会定例会の一般質問は、16名の議員が44項目について行いました。

### ◆野々口 眞由美 議員

- 学校の教育活動について
- 高齢者の移動手段の確保について

### ◆遠藤 誠 議員

- 人口問題
- 大山小学校の卒業生について
- 文化について

### ◆尾嶋 一雄 議員

- マンション管理適正化推進計画と管理計画認定制度について
- 学校体育施設のAED屋外設置について

### ◆和賀 正義 議員

- 消防団の充実について
- イベントの安全対策(AEDの貸出)の周知について
- 高齢者が暮らしやすい街づくりの実現に向けて

### ◆細井 藤夫 議員

- 投票率の発表方法の改善を
- 深夜急行バスの運行再開の要望を
- 白岡市商工会の開発商品・認定商品の再展開を
- マイナンバーカードの健康保険証機能の確実な運用を

### ◆斎藤 信治 議員

- ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて
- ごみを資源に
- 農業に支援を

### ◆石渡 征浩 議員

- しらおか味彩センターの活性化について
- 令和6年度一般会計予算編成方針について
- 側溝への蓋がけ予算の劇的増大を

### ◆黒須 大一郎 議員

- 公共施設統合再編実施計画は
- 学校再編基本計画の策定を
- ケアラーの将来は

※一般質問とは、議員が市が行う事務事業に対して質問を行うことです。

### ◆加藤 一生 議員

- 市職員の労働環境と新規職員の採用状況は
- 工業団地と駅等とを結ぶ公共交通の新設はどう考えているか

### ◆菱沼 あゆ美 議員

- 防災情報について
- 地域の共助・近助の力を高めることについて
- 文書発信の工夫について

### ◆嶋田 友一郎 議員

- 消防団による地域防災力の強化について

### ◆浜口 清志 議員

- 地域公共交通について
- テニスコートの管理について

### ◆中川 幸廣 議員

- 小・中学校にアントレプレナーシップ教育の導入を図ってはどうか伺う

### ◆松本 栄一 議員

- 地域クラブ活動の現状と高校入試は
- 自転車利用者の安全対策

### ◆中山 廣子 議員

- 学校図書館について
- 熱中症対策の推進について
- 安全な道路整備について

### ◆中村 匡志 議員

- 今般の干ばつの市内農業への影響について
- 民間事業者の開発による団地の道路について(その2)
- 市内の救急医療体制について
- 公教育における歴史教育について
- 公教育における外国語教育について(その2)
- マイナンバーカードに対する市民の不安の解消について
- 「市長への手紙」について

※一人につき2項目までを要約して掲載しています。  
※提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



中川幸廣 議員  
(白和)

## 問 アントレプレナーシップ教育を

アントレプレナーシップ教育は、起業家精神を養う教育である。市内の商店街活性化のためにも、小学生・中学生からの起業家教育が有効と考える。小中学校でのアントレプレナーシップ教育の導入を考えてはいかがか伺う。

## 答 既存の学習活動を一層充実させていく

現在、地域の商店と自分の生活とのつながりを実感するほか、市場経済の仕組みの基礎を学習する機会を設けている。

今後も、引き続き各教科の学習指導要領に沿って、経済の仕組みや企業の活動などに関する学習を一層充実させていく。

## 問 消防団による地域防災力の強化を

火災に対する訓練のみが行われている現状において、負担となっている形式的な訓練を減らし、風水害や大地震を想定したより実践的な訓練の実施と装備の充実を行うことはできないか。また、大規模災害時における地域自主防災組織との連携について考えているか。

## 答 地域防災力を高める訓練等を検討する

消防団員の形式的な訓練等を見直し、負担軽減に向け準備を進めるほか、様々な災害を想定した訓練や装備拡充を検討していく。消防団は、災害対策本部や消防署からの要請を受け出動する体制を原則としており、避難所運営に主体的に関わる活動は想定していない。



嶋田友一郎 議員  
(白和)